

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募

草の根活動支援事業 地域ブロック 採択事業

| | | |
|-----------|--|--------------------|
| 事業名 主題 | NPOによる協働・連携構築事業 | |
| 事業名 副題 | 寄り添い型包括的支援で困難な課題にチャレンジ！創造性を応援！ | |
| 地域ブロック | 東海ブロック【事業対象地域：中部圏（長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県）】 | |
| 団体名 | 一般財団法人 中部圏地域創造ファンド | |
| 代表者名 | 理事長 | 稲垣隆司 |
| 解決すべき社会課題 | <p>1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援; ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</p> <p>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動; ④働くことが困難な人への支援; ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援</p> <p>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動; ⑥地域の働く場づくりの支援; ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援</p> | |
| 事業の概要 | <p>本事業は、「虐待・いじめ・不登校・ひきこもり・自殺など子ども若者が抱える深刻な課題」「日本社会における在留外国人が抱える課題解決への支援と多文化共生」「過疎地域におけるコミュニティの維持と環境保全」の3つの課題にチャレンジする取組を応援する。NPOがチームを組み推進力となって、課題解決のための包括的な協働・連携体制をつくり、互いに知見を共有し新たなサービスを創出する。そして、事業プロセスと取組の効果を調査分析し、モデル事例として中部圏への拡大を図る。</p> <p>NPO法が出来て20年余、NPOがこれまで積み上げてきた活動実績と経験をいかして事業を推進する。</p> | |
| 事業期間 | 3年 | |
| 助成額（円） | 助成金 | 99,970,000 |
| | PO関連経費 | 27,996,540 |
| | 評価関連経費 | 9,649,840 |
| | 合計 | 137,616,380 |

| | |
|--------|--|
| 審査コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・中部5県を対象とし、テーマ設定に地域性が考慮されている。 ・募集対象を、チーム（コーディネート団体1+実行団体複数で構成）としている点は評価できる。 ・進捗管理の方法、体制、伴走支援プログラムも充実している。 ・モデル事例開発を行い、それをベースに共有化し横展開を図る進め方は評価できる。 ・NPO助成の経験を持っており、社会的インパクト評価、非資金的支援の内容も詳しく明示されている。課題認識と構造化、それに対するソリューション等の仮説から助成の効果が見込めるイメージが湧く。 ・当該団体が目指す課題解決を実行可能な実行団体をどれだけ確保できるかがポイントであり、選定段階での評価基準をより明確化するとともに、非資金的支援の内容として、課題の構造化、ソリューション仮説の明確化を行えるような成長支援の内容も盛り込むとより成功確率が高まると期待される。 |
|--------|--|

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。